

ナショナルトレーニングセンターの周辺のバリアフリー化に関する 当面の整備方針（案）の概要

ナショナルトレーニングセンター周辺のバリアフリー化
促進に関する関係省庁等連絡会議

本会議はWGを設置し、日本パラリンピアンズ協会の調査報告書を基に、それ以外にも利用が想定される箇所を含め、改めて関係機関による実地点検を実施した上で、公共交通機関を利用したナショナルトレーニングセンター拡充棟（仮称）へのアクセス経路やハイパフォーマンスセンター（※）の各施設間の移動経路について、バリアフリー化を段階的・継続的に進める「アクセシブルルート」を設定し、各施設管理者等が取り組む事項について当面の整備方針として取りまとめた。

（※）ナショナルトレーニングセンター及び国立スポーツ科学センターの有する機能を一体的に捉えたもの。

1. 基本的な考え方

- 整備にあたっては、実地点検での指摘の趣旨も踏まえつつ、関係機関等と連携・調整を図る。
- ハード整備と併せて、情報発信及び「心のバリアフリー」の推進等に取り組む。
- JSC、北区、板橋区など関係機関が協力して、構造体の抜本的な見直しを要するなどにより、当面の整備方針に盛り込むことができなかった課題も含め、継続的にスパイラルアップを図る。

2. 2019年6月末までに整備を目指す主な箇所

